

仙台大学創立50周年記念

「スポーツ環境整備基金」募金趣意書

本学は、我が国のスポーツ文化向上を目的とし、体育学専門の単科大学として、昭和42年に宮城県柴田町に開設されました。爾来、各界皆様方のご支援・ご協力を戴き、東北・北海道地域における唯一の体育大学として確固たる地位を占めるに至りました。

この間、全国から優秀な学生が集い、現在は体育学部2,400名余、大学院40名余の学生が在学し、卒業生も14,200名余を数え、全国各地においてスポーツ界・教育界・実業界等において幅広く活躍をいたしております。これは、本学の建学の精神に基づき、古来人間が希求して止まない健康の保持と、その具現策としての体育・スポーツのあり方を根本から追求し、より人間的な体育・スポーツの実践者・指導者の育成等を目指してきた成果であると確信いたすものであります。

さて、本学は平成29年4月に創立50周年を迎えました。今後とも単にスポーツの技を練るのみではなく、医学等との関連を含めた健康に関する科学を追求するなど、時代の要請に一層的確に対応してまいり所存でございます。

スポーツは、個々人の心身両面の健全な発達に資するとともに、明るく豊かで活力に満ちた社会づくりに寄与する世界共通の文化の一つであり、21世紀社会を迎え、益々その重要性が高まってきております。とりわけ、スポーツとの多様な関わりの中で、人間の有する様々な能力・可能性の極限を追求する活動は、先端的な学術研究や芸術活動と共通する意義のある文化的活動であり、体育系大学の重要な役割として、その発展の一翼を積極的に担うことが求められております。

平成24年3月に文部科学省から公表されました「スポーツ基本計画」は、「スポーツ基本法」の理念を具体化し、今後の我が国のスポーツ施策の具体的な方向性を示したのですが、その主要な課題の一つに「国際競技力の向上に向けた人材の養成やスポーツ環境の整備」があります。その国際競技力の向上を図っていく上では、競技志向を有する優秀な人材のもとに、指導者や施設を兼ね備えた体育系大学の果たす役割に、スポーツ界全体として大いに期待がかけられております。そのような現状を踏まえ、今日、仙台大学が世界を目指した競技力向上に取り組んでいく姿勢をより鮮明に、より具体的に示していくことが求められ、このことがひいては仙台大学の基盤の安定化・発展に繋がることとなります。

つきまして、仙台大学の発展に向けた競技力の総合的な向上方策として、大学創立50周年を契機に、「スポーツ環境整備基金」を創設し、広く企業、財界、同窓生、仙台大学関係者等の趣旨にご賛同を戴ける方々に、ご寄付をお願い申し上げたく存じております。皆様には、これまでも絶大なるご寄付を戴いてまいりましたが、更に一層のご芳情をお寄せくださいますよう謹んでお願い申し上げます。

平成29年4月

朴沢学園理事長	朴 澤 泰 治
仙台大学長	阿 部 芳 吉
仙台大学同窓会長	鈴 木 省 三
仙台大学保護者会長	杉 山 博

寄 付 金 募 集 要 項

- | | | |
|---|------|--|
| 1 | 募金金額 | 一口 5,000 円とし、何口でも結構です。 |
| 2 | 募金期間 | 平成 28 年 4 月から開始いたしております。 |
| 3 | 払込方法 | <u>銀行振り込みの場合</u>
金融機関名：七十七銀行 船岡支店
口座番号：普通 5000449
口座名義：学校法人朴沢学園仙台大学
「スポーツ環境整備基金口」学長 遠藤 保雄
(平成 30 年 4 月 1 日より) |

郵便振替の場合

振込用紙をお送りいたしますので、下記のお問い合わせ先までご連絡ください

- | | | |
|---|---------|--|
| 4 | お問い合わせ先 | 仙台大学 事務局 総務室
代表 0224 - 55 - 1121 (内線 201) |
|---|---------|--|

税の優遇措置

(1) 法人

[損金算入限度額]

(資本金の金額×0.375%+当該年度所得×6.25%)×1/2

(2) 個人

[所得控除]

寄付金額(所得金額の40%が上限)ー2千円を所得から控除